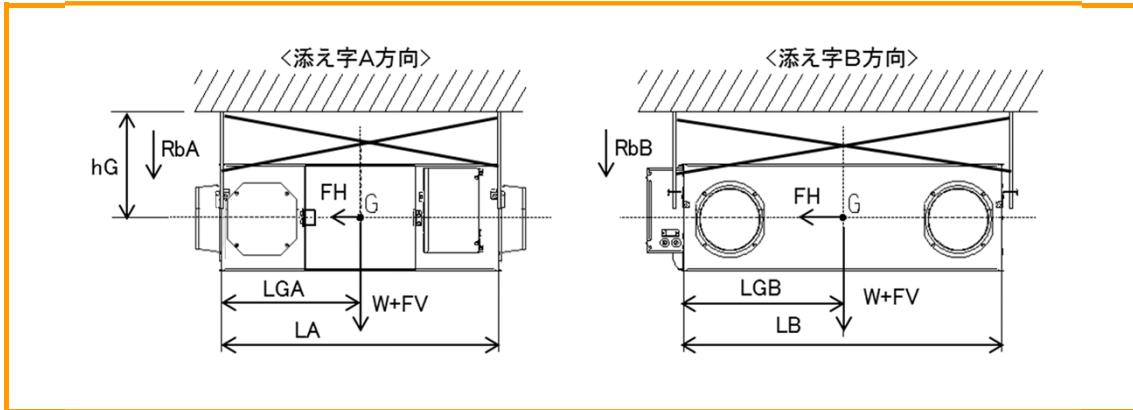


業務用ロスナイ耐震強度検討書

「LGH-RN35RXV(D)(既設:LGH-(N)35[RS5 / RS / RS2 / RS3](D))」耐震強度検討書



計算条件

お客様ご指定条件

▶ 製品質量	W =	33.0	kg	▶ ボルトから重心	LGA =	440.0	mm
▶ 重心高さ	hG =	500.0	mm	▶ までの距離	LGB =	452.0	mm
▶ 製品上面～天井面		335.0	mm	▶ ボルトサイズ		M10	
▶ ボルトスパン	LA =	875.0	mm	▶ ボルト総本数	n =	4	本
	LB =	921.0	mm	▶ 片側ボルト本数	ntA =	2	本
					ntB =	2	本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果

設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0												
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0												
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0												
設計用水平地震力	FH=KH×W×9.8	0.32 kN	0.49 kN	0.65 kN												
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.16 kN	0.24 kN	0.32 kN												
アンカーボルト引抜力	$R_b = \frac{FH \times hG + (W \times 9.8 + FV) \times (L - LG)}{L \times nt}$ <p>* L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB、nt: ntA又はntB</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">・ボルトスパンA側(RbA)</th> <th colspan="2">・ボルトスパンB側(RbB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.21 kN</td> <td>0.28 kN</td> <td>0.21 kN</td> <td>0.28 kN</td> </tr> <tr> <td>0.21 kN</td> <td>0.28 kN</td> <td>0.34 kN</td> <td>0.34 kN</td> </tr> </tbody> </table>			・ボルトスパンA側(RbA)		・ボルトスパンB側(RbB)		0.21 kN	0.28 kN	0.21 kN	0.28 kN	0.21 kN	0.28 kN	0.34 kN	0.34 kN
・ボルトスパンA側(RbA)		・ボルトスパンB側(RbB)														
0.21 kN	0.28 kN	0.21 kN	0.28 kN													
0.21 kN	0.28 kN	0.34 kN	0.34 kN													
アンカーボルトせん断応力度	$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$ <p>A: ボルト断面積 M10 0.55 cm²</p>	0.15 kN/cm ²	0.22 kN/cm ²	0.29 kN/cm ²												

各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率

あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 施工方法: コンクリート厚さ120mm 埋込寸法45mm、限度100mm以下 短期許容引抜荷重: 3.8 kN	17.8	倍	13.6	倍	11.0	倍
--	------	---	------	---	------	---

各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率

ボルト(SS400) 短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²	68.7	倍	45.8	倍	34.4	倍
ステンレスボルト(A2-50) 短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²	62.0	倍	41.4	倍	31.0	倍

以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する

・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。

・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。